

# 町政



幅田千富美

## 国保税を引下げ住民検診充実を 負担の公平が大原則である

**幅田** 旧溝口町では国保税が一人当たり年平均約二万三千八百円も引き上げられた。国保世帯の半分は法定減免世帯である。生活実態をどう把握されているのか。

税や医療費の窓口減免制度を整え、国の支援がなければ制度が成り立たない。

それなのに払えない人から保険証を取上げていいのか。

病人がふえたからといながら住民検診を有料化し人間ドック(五年毎)、乳ガン、子宮ガン、骨粗しょう症(二年毎)、六十才以上は外される。これで早期発見、早期治療に役立つか。元に戻して本腰を入れた取り組みが必要だがその考えは。

**町長** 十五年度、医療費県内二位、保険税低い方

から七位、十六年度六位で国保運営がでず基金を取り崩し維持した。景気低迷により所得が減少し、十七年度四十九%の世帯が保険税軽減世帯。相談の上、災害等の減免対応をしている。

通じて、住民全体の健康管理に努めたい。

しかし負担の公平が大原則である。



検診風景(岸本保健福祉センター)

### 大型焼却炉建設は 見直しゴミ減量化 促進を

**幅田** 南部町に建設予定の西部広域大型ゴミ焼却炉は、ゴミ減量化や循環型社会への取り組み、財政負担、環境保全上問題があり見直す必要がある。

**町長** 焼却施設の耐用年数は平成二十三年。広域可燃ゴミ処理施設設置の立場で臨む。ゴミ減量化は過去のゴミと今後のゴミ排出量予測を検討して

いる段階である。

**幅田** 給食センター統合は見直し現場の声の結集をしてはどうか。

**教育長** 岸本学校給食センターを整備し統合するため今回設計費百五十万円計上した。

**幅田** 学校施設の早期改築は。

**教育長** 財政逼迫の折り、現実には不可能。緊急性を要するものから計画的に整備したい。

**幅田** 観光施設、美術館運営見直しをしてはどうか。

**町長** 町の観光、文化、産業振興活性化拠点の施設、県内外からの利用促進を図る運営をする。

### 介護保険の改善を

**幅田** 介護保険法改正で十月から施設入所者は部屋代、食事代の徴収で年四十万円以上の負担増、軽度要介護者はヘルパー

サービスカットで現場は混乱が予想される。特に二段階の非課税、老人単独世帯の生活実態把握、生保基準に基づき利用料、保険料の減免、介護手当の支給を求める。又広域

連合議会の調査資料公表を求めたい。

**町長** 在宅と施設利用者負担の不均衡是正のため、低所得者の負担軽減を図りつつ、制度持続可能なために負担は必要である。

該当対象者の把握作業は広域連合で行い、十八年度から第二段階を二つに区分する。資料公表は必要あるものは公表する。